

取扱説明書

エアインフレーター

AT-330	MODEL No.880971	(スタンド式)
AT-331	MODEL No.880972	(壁掛け式)
ATR-330	MODEL No.881067	(リール付スタンド式)



警告

安全のため、本機のご使用前には必ずこの取扱説明書を熟読し、記載されている重要事項を良く理解してください。
お読みになった後は、本取扱説明書をいつでも使用できるよう大切に保管してください。

- はじめに

本書は、お使いになる本製品が、故障なく十分に皆様のお役に立ちますことを念願して、正しい使用方法とご使用上の注意について説明したものです。

この取扱説明書を読む前に本製品の操作を行わないでください。

尚、ご使用中に不明な点、不都合などがありましたら、お買い上げの販売店、または、裏面記載の弊社営業所までご連絡ください。

取扱説明書、注意ラベル等を汚損、紛失した場合には、速やかにお買い上げの販売会社からご購入いただき保管・貼付してください。

- 使用目的

本製品は、軽自動車・一般乗用車及び 2 トントラックまでを対象とした、自動車のタイヤ専用のエアインフレーターです。あらかじめ希望の圧力にセットし、エアホース先端のタイヤチャックでタイヤにエアを充填します。

本製品は、自動車のタイヤ専用のエアインフレーターですので、エアタンク等の充填に使用しますと故障の原因になりますので、注意してください。

- 警告・注意事項

本製品を安全にお使いいただくために、以降の記述内容を必ずお守りください。

本書では、警告および注意事項を絵によって表示しています。これは本製品を安全に正しくお使いいただき操作を行う方や周囲にいる方々に加えられる恐れのある人身事故や、周囲にある物品への損害を未然に防止するための目印となるものです。その表示と意味は次のようになっています。内容をよくご理解いただくようによくお読みください。

 **警告：** この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡する可能性または重傷を負う可能性があることを示しています。

 **注意：** この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性があること、および物的損害が発生する可能性があることを示しています。

また、危害や損害の内容を示すために、上記の表示とともに以下の絵表示を使用しています。



この表示は、してはいけない行為（禁止事項）であることをあらわしています。表示の脇には具体的な禁止内容が示されています。



この表示は、必ずしたがっていただく内容であることをあらわしています。表示の脇には具体的な指示内容が示されています。

- 使用上の注意事項

警告



- サービスホースへは無理な曲げ、引張りがかからないように取扱いには注意してください。ホースのひび割れ、破損等の原因となります。

注意



- 本製品は、一般乗用車及び2トントラックまでを対象とした、自動車のタイヤ専用のエアインフレーターですので、他の用途に絶対使用しないでください。
特に、大型トラック、エアホーン等への充填は、故障の原因となりますので絶対使用しないでください。



- タイヤに充填する際は、空気漏れが無いようにタイヤチャックをタイヤのエアバルブへしっかりと押し当ててください。空気漏れの状態で充填しますと、正確な空気圧力で充填できず、設定した圧力以上に充填される場合があります。



- エアホースに亀裂や穴等が生じた場合、供給エアによりホースが暴れ、物的損害や使用者に怪我を負わせる原因となります。
日常点検を行い、エアホースに亀裂や穴等があれば、最寄りの販売店、または弊社営業所に注文してください。



- 本製品は測定器です。乱雑に取扱ったり、物をぶつけたりしますと、衝撃により正しいエア圧の充填が行えなくなりますので、取扱には充分注意してください。



- **本製品へは、1MPaの圧力に調整したエア（元圧）を供給してください。**
ご使用のコンプレッサーの性能が1MPa（1,000kPa）以上の排出能力を持つ場合は、必ず減圧弁を使用し1MPaに減圧してください。正常な圧力のエアが供給されない場合、誤動作および精度の悪化、本製品が破損する恐れがあります。



- **本製品には、エア配管内の異物、水分が含まれていない清浄なエアを供給してください。**
清浄ではないエアを供給されると、本製品の故障の原因になるだけでなく、タイヤの性能低下による事故の原因になる恐れがあります。



- コンプレッサーから直接エアを供給すると、元圧の変動で、タイヤ空気圧表示に変動が生じます。
コンプレッサー側に減圧弁を取付け、定圧に調整したエアを供給してください。
（元圧変動±0.2MPaで、タイヤ空気圧表示の変動±10kPa）



- 本製品は、元圧（供給圧力）と設定圧力及びタイヤ圧力とのバランスを取りながら充填する構造上、約0.3MPa（300kPa）の差圧が生じます。このため、元圧1MPa（1,000kPa）のとき充填可能な圧力は、約700kPaまでとなります。



- 充填作業終了後は、セットつまみを左（反時計方向）に廻し、必ず設定圧力を“0”に戻しておいてください。夜間・休日など長時間使用しないときは、エア源を切り本製品へのエア供給を止めておいてください。

NOTE

- 新しいタイヤへのエア充填には時間がかかりますので、予めご了承ください。
- 計量法改正によりエア圧力単位はパスカル表示になりました。
また、エアコンプレッサーの圧力表示はMPa、タイヤ空気圧表示はkPaと表記しております。

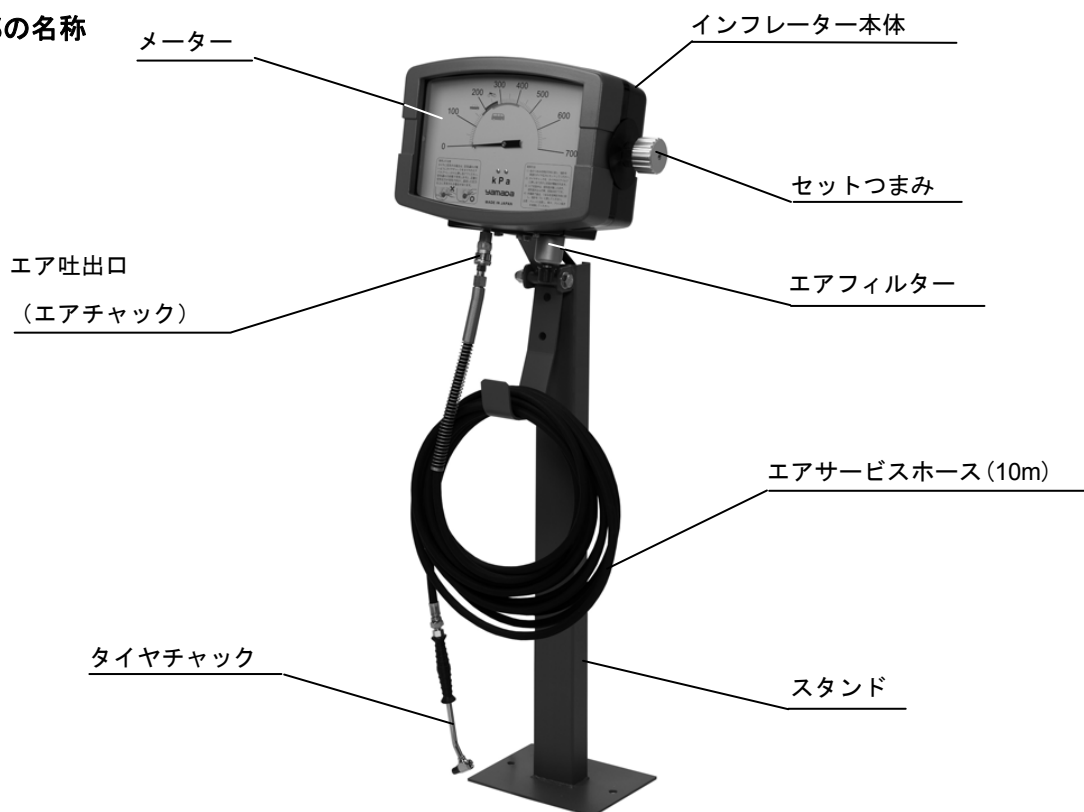
目 次

- はじめに
- 使用目的
- 警告・注意事項
- 使用上の注意事項

目次

1. 各部の名称	1
2. 梱包内容	1
3. 設置	
3.1 AT-330（スタンド式）の場合	2
3.2 ATR-330（リール付スタンド式）の場合	2
3.3 AT-331（壁掛式）の場合	3
4. 使用方法	4
5. 保守・点検	
5.1 故障の点検とその対策	5
5.2 作業前点検・1ヶ月定期点検	5
5.3 消耗品一覧	5
5.4 配管経路図	6
6. 部品分解図・パーツリスト	
6.1 部品分解図 スタンド式・壁掛式エアインフレーター	7
6.2 パーツリスト スタンド式・壁掛式エアインフレーター	8
7. 仕様	9
8. 本製品設置例	9
9. 不具合内容 FAX シート	11
10. 製品保証登録 FAX シート	12
11. 保証規定	13

1. 各部の名称



2. 梱包内容

本製品は、エアインフレーター本体とスタンド、及びコンパクトリール（ATR-330 仕様の場合のみ）に分割して段ボール箱に梱包してあります。

開梱し、機器の損傷並びに付属品の有無を確認してください。

万一、下記の付属品が同梱していない場合、お買上げの販売店、または弊社営業所までご連絡ください。

リスト

品目番号	名 称	員数	880971 AT-330	880972 AT-331	881067 ATR-330
880972	壁掛式エアインフレーター	1	●	●	-
854015	エアインフレーター	1	-	-	●
802762	スタンド組立	1	●	-	●
686608	コンパクトリール	1	-	-	●
AUT010U	取扱説明書	1	●	●	●
AUT056U	点検表	1	●	●	●

3. 設置

3.1 AT-330（スタンド式）の場合

〈装置の組立〉(Fig.1)

- 1) エアインフレーター本体(AT-331)底部に、本体支えを3本の六角穴付ボルトにて確実に締付け固定してください。
- 2) エアインフレーター本体をスタンドに取付けてください。
スタンド上部に本体支えの穴部を合せ、付属の六角穴付ボルト、平座金、袋ナットにて確実に固定してください。
この際、本体背面に取付けてあるエア供給ホースは、スタンド内を通し下部の穴より引出しておいてください。
- 3) スタンド上部にライトキャップを取付けてください。

〈エア配管工事〉

- 1) 取付位置まで供給エアの配管工事を行ってください。
エア配管材は、1/4 以上の配管用炭素鋼鋼管(SGP)をご使用ください。
なお、取付位置がコンプレッサーに近い場合は、配管工事を行わずエア供給用ホース(1/4 長さ 2.5m)で接続しても支障はありません。

NOTE

配管工事終了後は、本製品に接続する前にエアを通し配管内の切粉、ゴミなどを取除いてください。

〈セットアンカー取付工事〉(Fig.2)

- 1) 本製品の取付位置（平らな場所）に、付属のセットアンカー2本を打込んでください。
セットアンカーは $\phi 12.7$ のドリルを使用し、穴ピッチ：194mm、穴の深さ：約 50mm の下穴 2ヶ所をあけ、確実に打込んでください。
- 2) セットアンカーに本製品を取付け、ナットにて確実に締付け固定してください。
- 3) エア供給用ホースを、エア配管に接続してください。
なお、エア接続箇所にはエアチャックをご利用いただくと便利です。

Fig.1

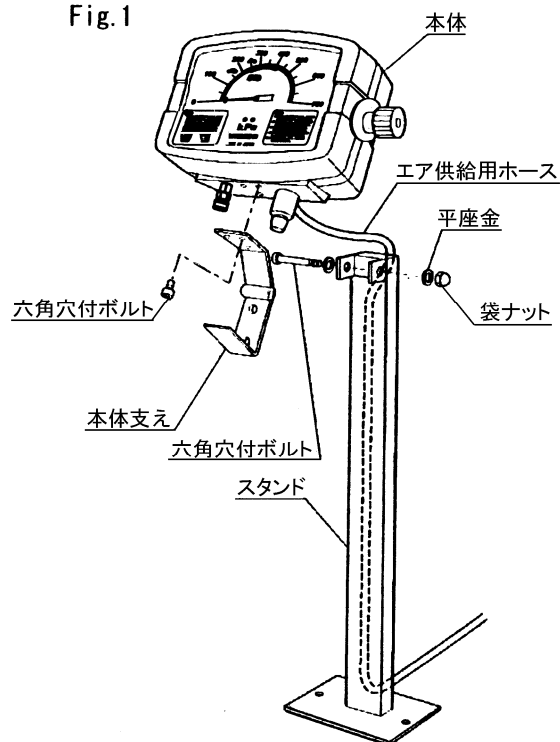
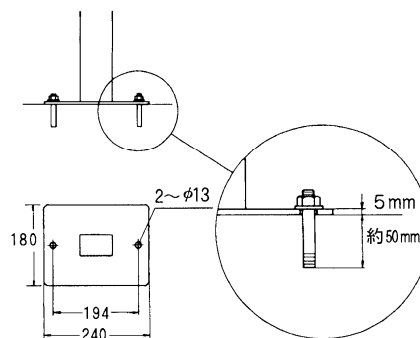


Fig. 2



3.2 ATR-330（リール付スタンド式）の場合

コンパクトリールに同梱されている、設置要領書をご参照ください。（設置要領書 AUT 043S）

3.3 AT-331（壁掛式）の場合

〈装置の組立〉(Fig.3)

- 1) エアインフレーター本体底部に、本体支えを3本の六角穴付ボルトにて確実に締付け固定してください。
本体支えは、ホース掛けも併用しております。

〈エア配管組立〉

- 1) 取付位置まで供給エアの配管工事を行ってください。
エア配管材は、1/4 以上の配管用炭素鋼鋼管(SGP)をご使用ください。
なお、取付位置がコンプレッサーに近い場合は、配管を行わずエア供給用ホース(1/4 長さ 2.5m)で接続しても支障はありません。

NOTE

配管工事終了後は、本製品に接続する前にエアを通し配管内の切粉ゴミなどを取除いてください。

〈セットアンカー取付工事〉(Fig.4)

- 1) 本製品の取付位置（平らな壁面）に、付属のセットアンカー2本を打込んでください。
セットアンカーは $\phi 12.7$ のドリルを使用し、穴ピッチ：60mm、穴の深さ：約50mmの下穴2ヶ所をあけ、確実に打込んでください。
- 2) セットアンカーに本製品を取付け、ナットにて確実に締付け固定してください。
- 3) エア供給用ホースを、エア配管に接続してください。
なお、エア接続個所にはエアチャックをご使用いただくと便利です。

Fig.3

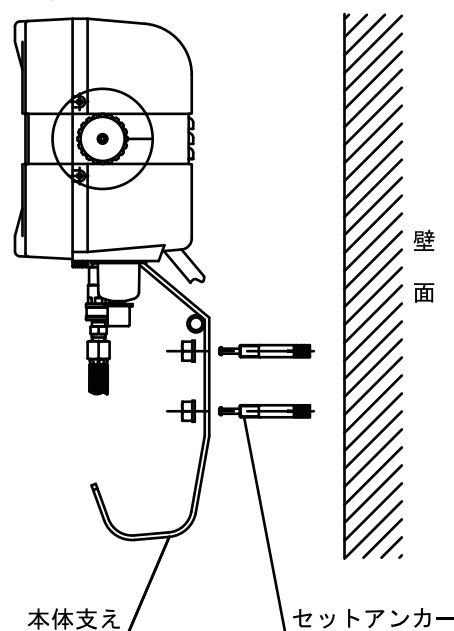
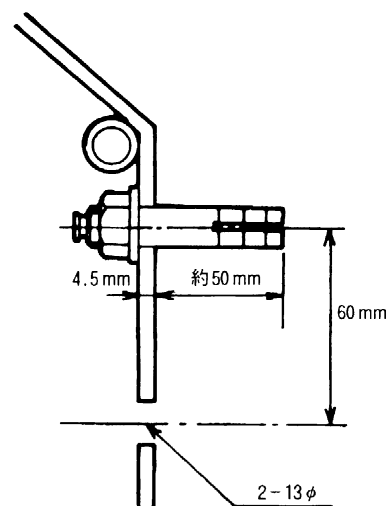


Fig.4



4. 使用方法

⚠ 注意

- ❗ - 本製品へは、1MPa の圧力に調整した清浄なエアを供給してください。ご使用のコンプレッサーの性能が 1MPa(1,000kPa)以上の圧力を持つ場合は、必ず減圧弁を使用し 1MPa に減圧してください。
- ❗ - コンプレッサーから直接エアを供給すると、元圧の変動で、タイヤ空気圧表示に変動が生じます。コンプレッサー側に減圧弁を取付け、定圧に調整したエアを供給してください。
(元圧変動±0.2MPa で、タイヤ空気圧表示の変動±10kPa)
- ❗ - 設定圧力にするためセットつまみを廻しても指針が動かない場合は、それ以上廻さず元圧をチェックしてください。無理に廻しますと、セットつまみを破損することがあります。
- ❗ - 夜間・休日など長時間使用しないときは、セットつまみを“0”に戻し、エア源を切り本製品へのエア供給を止めておいてください。

- 1) エア供給用ホースに、コンプレッサーからの（減圧弁にて調整した）エアを供給してください。

本製品に供給する最大エアは、圧力 1MPa の清浄なエアをご使用ください。

- 2) 付属のエアサービスホース(10m)をエアインフレーター本体下部のエアチャック（エア吐出口）に接続してください。(Fig.5)

- 3) エアインフレーター本体右側側面のセットつまみを右（時計方向）に廻し、メーターの指針を希望するタイヤ圧力に合わせてください。(Fig.6)

- 4) エアサービスホースのタイヤチャックの口金を、充填したいタイヤのエアバルブに垂直に強く押当てますと、タイヤへの充填が開始されます。(Fig.7)

充填中は、エアインフレーター本体に内蔵されている作業音（チンチンという音）を発し、充填が行われていることを知らせます。

- 5) タイヤの圧力が設定圧に達しますと、自動的に充填が終了し、信号音も止まります。これでタイヤへの充填は完了です。

Fig. 5

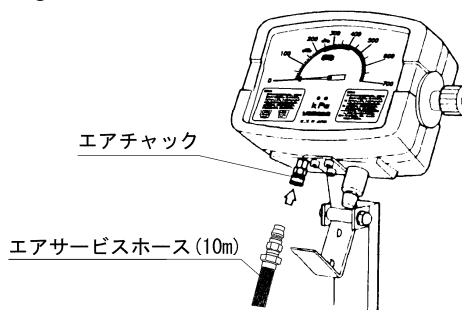


Fig. 6

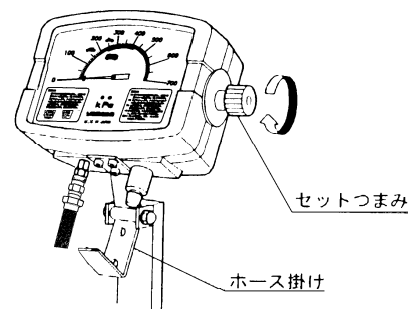
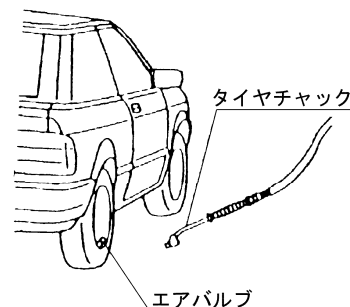


Fig. 7



⚠ 注意

- ❗ - 充填作業終了後は、セットつまみを左（反時計方向）に廻し必ず設定圧力を“0”に戻しておいてください。

5. 保守・点検

5.1 故障の点検とその対策

状況	点検項目	対策
● タイヤと設定圧が同圧になっても信号音が止まらない	● 元圧が正常に供給されているか	元圧を 1MPa に設定してください 風量を確保してください
	↓	
	● ホースジョイント部に漏れはないか	漏れ、ゆるみを点検し、増締め、 ホースの交換
	↓	
● エアインフレーター内部のエアチューブのはずれ	● エアインフレーター内部のエアチューブのはずれ	点検、補修
	↓	
● バランシングバルブ、分配器の不良	● バランシングバルブ、分配器の不良	サービスを依頼してください
	(シート面のゴミつまり)	
● タイヤへの供給エアが止まらない	● バランシングバルブ、分配器の不良	サービスを依頼してください
	(シート面のゴミつまり)	
● エアは入っているが信号音がしない	● 元圧が正常に供給されているか	元圧を 1MPa に設定してください 風量を確保してください
	↓	
	● バランシングバルブ組立の故障	バランシングバルブ組立の交換
	↓	
● エアインフレーター内部のエアチューブのつぶれ	● エアインフレーター内部のエアチューブのつぶれ	サービスを依頼してください
● 設定圧に対しタイヤ圧が同圧にならない	● 元圧が正常に供給されているか	元圧を 1MPa に設定してください 風量を確保してください
	↓	
	● 圧力計の不良	サービスを依頼し圧力計を交換
	↓	
● バランシングバルブ、分配器の不良	● バランシングバルブ、分配器の不良	サービスを依頼してください
● セットつまみを廻しても指示圧が上がらない	● 元圧が正常に供給されているか	元圧を 1MPa に設定してください 風量を確保してください
	↓	
	● 固定減圧弁のセット圧不良	調整
	↓	
● エアインフレーター内部のエアチューブのつぶれ	● エアインフレーター内部のエアチューブのつぶれ	サービスを依頼してください
● セットつまみの動きが悪い	● セットつまみにホコリ・ゴミの付着	点検またはサービスを依頼してください

● セットつまみをいっぱいねじ込んだ時、信号音が出る場合がありますが、これは故障ではありません。

5.2 作業前点検・1ヶ月定期点検

同梱されている、「AUT 056U エアインフレーター(AT-330、AT-331、ATR-330)点検表」をご参照ください。

5.3 消耗品一覧

推奨交換時期は目安です。保障する期間ではありません。

使用環境や使用条件、使用頻度等により交換時期が早まる場合があります。

点検時にご確認ください。

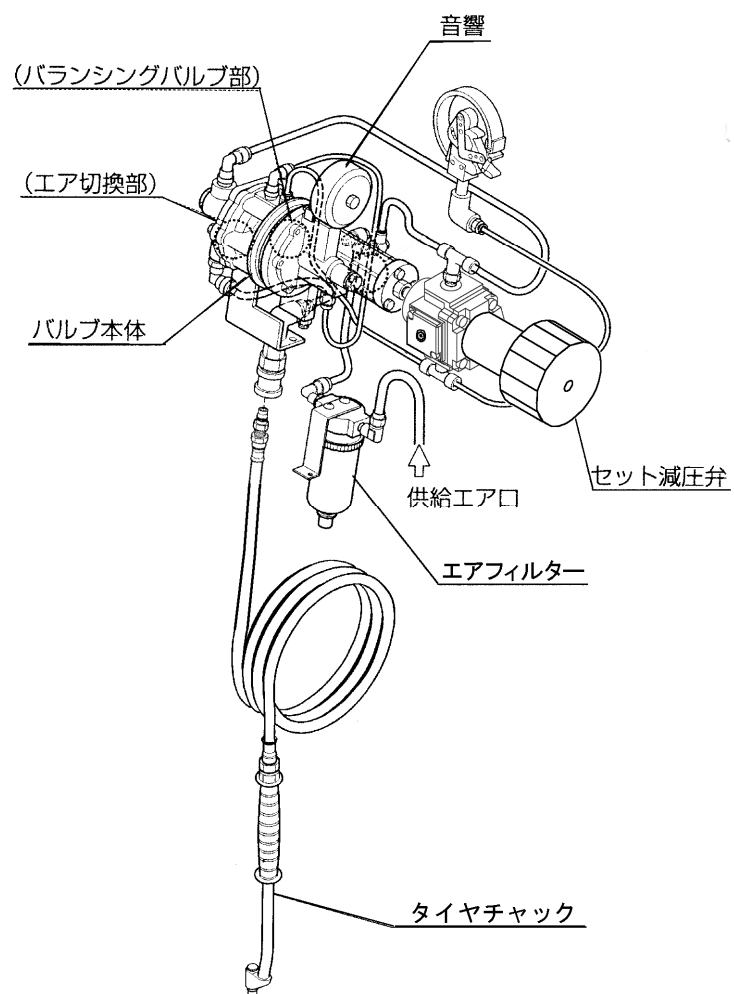
(「6. 部品分解図・パーツリスト」参照)

部品番号	部品名	数量	推奨交換時期
570117	エアチューブ	3/台	約 5 年
570118	エアチューブ	4/台	約 5 年
682658	圧力計本体	1/台	約 3 年 *1
682969	エアフィルター	1/台	約 2 年 *2
685426	タイヤチャックノズル	1/台	約 1 年
695490	エアホース	1/台	約 1 年
695854	エアホース	1/台	約 1 年
770661	パッド	1/台	約 3 年
803976	バランシングバルブ組立	1/台	約 3 年 *1

*1 圧力計、バランシングバルブについては、メンテナンス依頼をしてください。

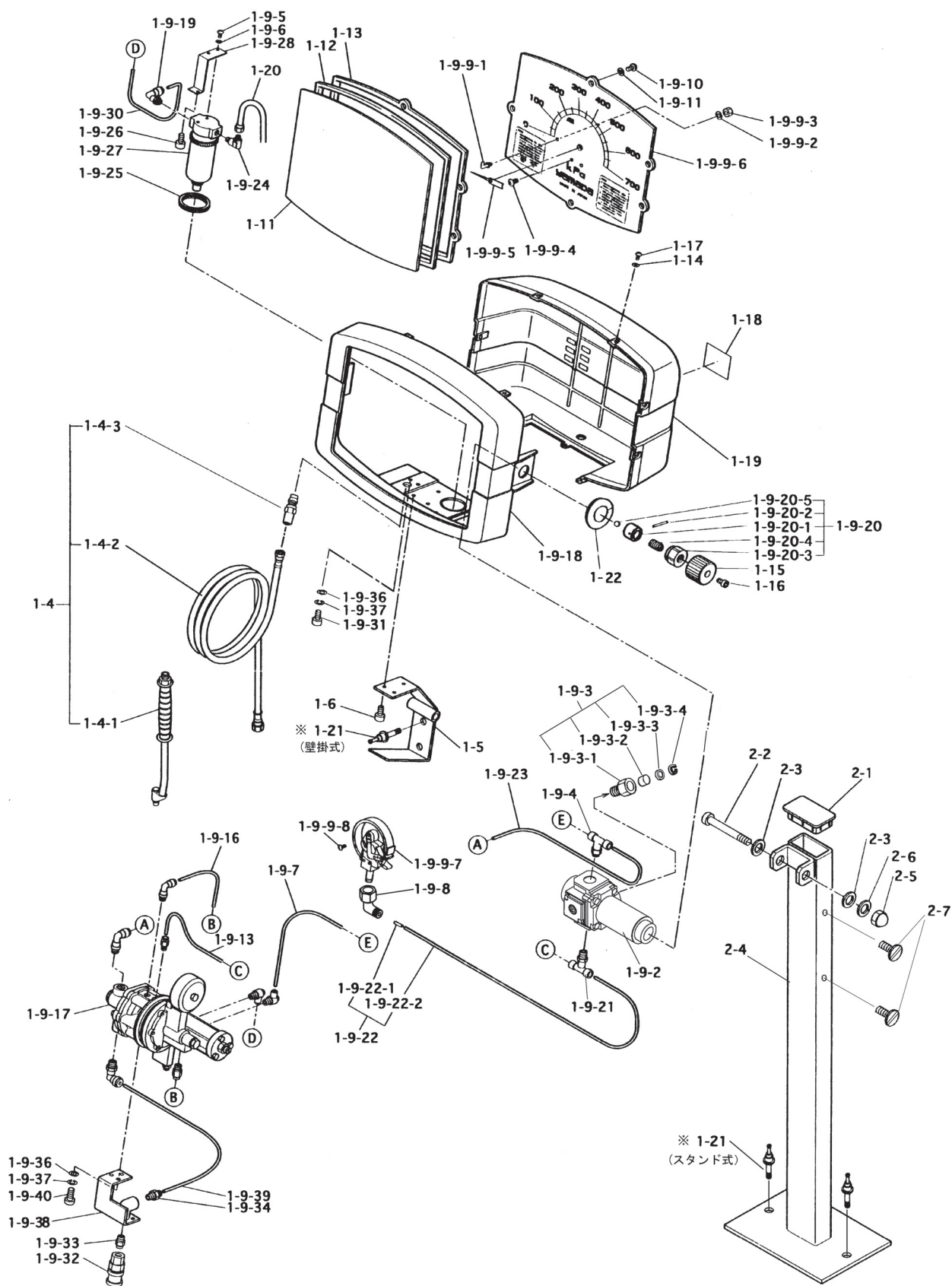
*2 エアフィルター内部のエレメントを交換してください。

5.4 配管経路図



6. 部品分解図・パーツリスト

6.1 分解図 スタンド式・壁掛式エアインフレーター



6.2 パーツリスト スタンド式・壁掛式エアインフレーター

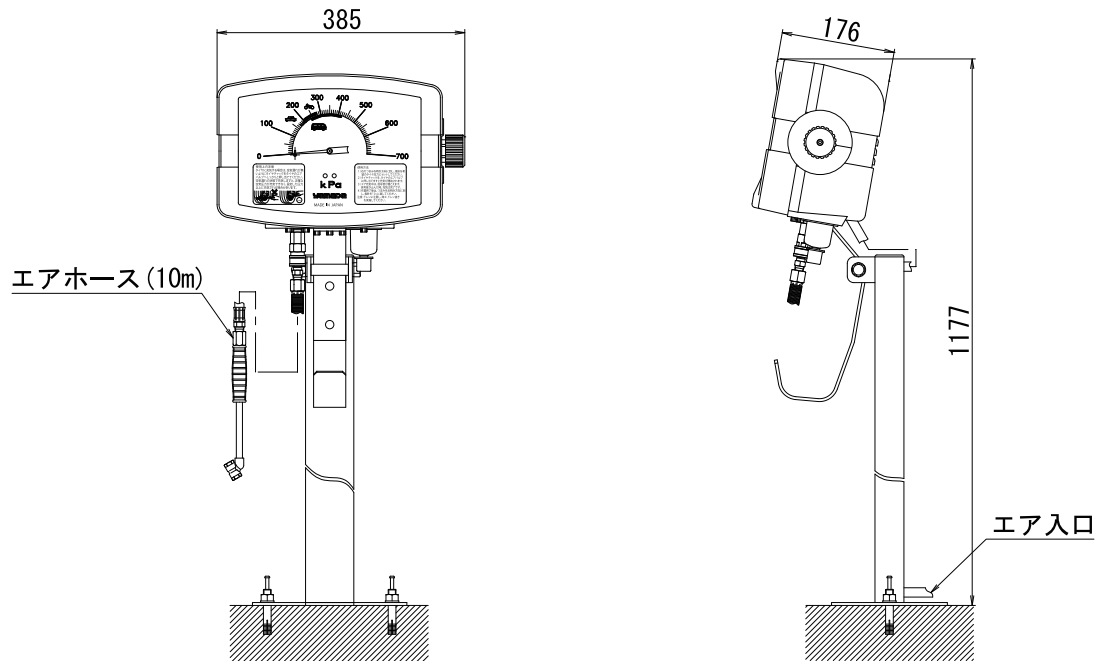
No.	部品番号	部品名称	員数	No.	部品番号	部品名称	員数
1	880972	壁掛式エアインフレーター	1	1-9-21	682655	チーズフィッティング	1
1-4	804321	エアホース組立	1	1-9-22	802346	エアチューブ組立	1
1-4-1	686275	タイヤチャックノズル	1	1-9-22-1	706484	インサート管	1
1-4-2	695854	エアホース	1	1-9-22-2	570117	エアチューブ	1
1-4-3	680743	口金	1	1-9-23	570118	エアチューブ	1
1-5	831641	本体支え組立	1	1-9-24	680677	エルボ	1
1-6	681851	六角穴付ボルト	3	1-9-25	771571	グロメット	1
1-9	804015	本体内部組立	1	1-9-26	681851	六角穴付ボルト	1
1-9-2	685382	セット減圧弁	1	1-9-27	682969	エアフィルター	1
1-9-3	801350	リリーフ体組立	1	1-9-28	710657	フィルターブラケット	1
1-9-3-1	706526	リリーフ体	1	1-9-30	570118	エアチューブ	1
1-9-3-2	770661	パッド	1	1-9-31	683282	六角穴付ボルト	2
1-9-3-3	631012	平座金	1	1-9-32	680744	エアチャック	1
1-9-3-4	630596	穴用C型止輪	1	1-9-33	634802	バレルニップル	1
1-9-4	682652	チーズフィッティング	1	1-9-34	682409	メイルコネクター	1
1-9-5	602265	ナベ小ネジ	2	1-9-36	631172	平座金	2
1-9-6	631415	バネ座金	2	1-9-37	631855	バネ座金	2
1-9-7	570118	エアチューブ	1	1-9-38	832381	ブラケット組立	1
1-9-8	686293	エルボフィッティング	1	1-9-39	570118	エアチューブ	1
1-9-9	804811	圧力計組立	1	1-9-40	682262	ボルト	3
1-9-9-1	706534	指針ストッパー	1	1-11	711457	ガラス	1
1-9-9-2	631413	バネ座金	1	1-12	771572	ガasket	1
1-9-9-3	627005	ナット	1	1-13	780048	ガラス押え	1
1-9-9-4	607107	バインド小ネジ	2	1-14	631009	平座金	6
1-9-9-5	683255	指針	1	1-15	710131	握り	1
1-9-9-6	832215	目盛盤組立	1	1-16	682657	六角穴付ボルト	1
1-9-9-7	682658	圧力計本体	1	1-17	602258	ナベ小ネジ	6
1-9-9-8	682651	ナベ小ネジ	1	1-18	790716	機番プレート	1
1-9-10	602287	ナベ小ネジ	5	1-19	780049	カバー	1
1-9-11	631417	バネ座金	5	1-20	695490	エアホース	1
1-9-13	570117	エアチューブ	1	1-21	680878	セットアンカー	2
1-9-16	570117	エアチューブ	1	1-22	772650	保護シート	1
1-9-17	803976	バルancingバルブ組立	1	2-1	683200	ライトキャップ	1
1-9-18	711458	本体	1	2-2	611210	六角ボルト	1
1-9-19	682649	エルボフィッティング	1	2-3	631015	平座金	2
1-9-20	804060	調整ボルト組立	1	2-4	831642	スタンド組立	1
1-9-20-1	714863	軸	1	2-5	630265	袋ナット	1
1-9-20-2	632771	スプリングピン	1	2-6	631422	バネ座金	1
1-9-20-3	711456	袋ナット	1	2-7	685923	キャップ	2
1-9-20-4	714425	調整ボルト	1				
1-9-20-5	630469	ボール	1				

7. 仕様

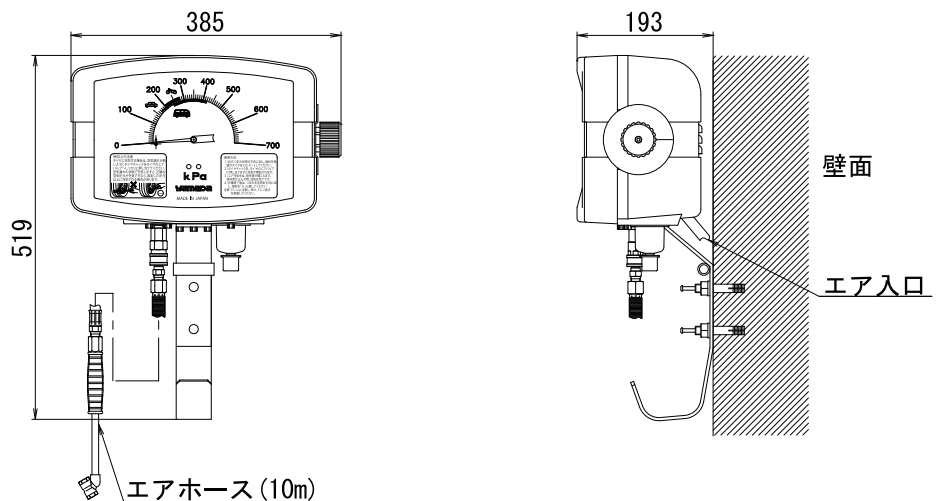
製品番号	型 式	主要性能	外観寸法	標準付属品
880971	AT-330 (スタンド式)	元圧：1MPa±0.05 設定圧力範囲：10kPa～700kPa	全高：1,177mm 全巾：385mm 奥行：303.5mm 質量：18.7kg	エアサービスホース……1 (10m タイヤチャック付) セットアンカー………2
880972	AT-331 (壁掛式)	最小目盛：10kPa 使用温度範囲：-5～60℃	全高：417mm 全巾：385mm 奥行：193mm 質量：12.5kg	エアサービスホース……1 (10m タイヤチャック付) セットアンカー………2
881067	ATR-330 (スタンド式)	充填速度：タイヤ 155/80 R13 で 100kPa→200kPa に 昇圧 11 秒程度	全高：1,177mm 全巾：385mm 奥行：380mm 質量：23.2kg	セットアンカー………2 コンパクトリール………1

8. 本製品設置例

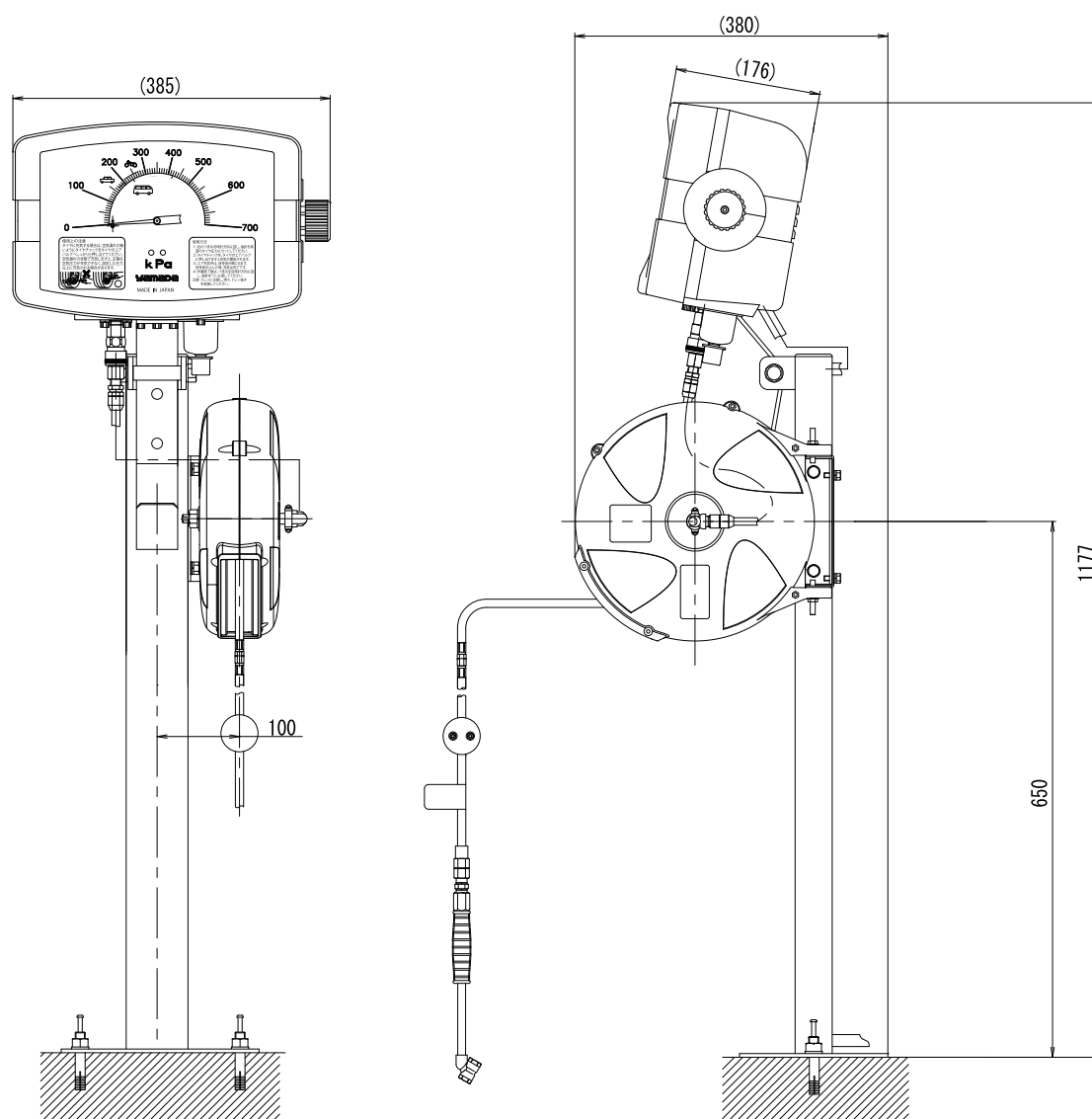
■ AT-330 スタンド式エアインフレーター



■ AT-331 壁掛式エアインフレーター



■ ATR-330 リール付スタンド式エアインフレーター



9. 不具合内容 FAX シート

不具合・故障の原因を追求するために、及び修理サービスの充実を図るために必要となりますのでお手数ですが下記の FAX シートに必要事項を記入して、弊社営業所宛てに送信してください。

不具合内容 FAX シート	
フリガナ 貴社名 _____	フリガナ ご担当者名 _____
フリガナ ご住所 _____ _____	ご所属 _____
	ご連絡先
	Tel. () _____ - _____ Fax. () _____ - _____
製品名	型式
使用期間 20 年 月 ～ 年 月	SERIAL No. (LOT No.)
運転頻度 ☐ 連続 ☐ 断続 hr / 日・週・月	購入年月日 購入販売店
機器の状態（不具合の内容）	

10. 製品保証登録 FAX シート

お手数ですが、下記の FAX シートをコピーして必要事項をご記入の上、弊社宛てにご返信ください。
(フリガナ指定の箇所は、必ずご記入ください。)

製品保証登録 FAX シート																													
フリガナ	フリガナ																												
貴社名 _____	ご担当者名 _____																												
フリガナ																													
ご住所 _____	ご所属 _____																												
_____	ご連絡先																												
	Tel. () _____																												
	Fax. () _____																												
■ 貴社の業種を下記より選んで○で囲んでください。 <table border="0"> <tr> <td>1. ガソリンスタンド</td> <td>2. 自動車整備業</td> <td>3. 自動車部品製造</td> </tr> <tr> <td>4. 車両・造船業</td> <td>5. 製鉄業</td> <td>6. 機械加工業</td> </tr> <tr> <td>7. 機械製造業</td> <td>8. 電気機械器具製造</td> <td>9. 半導体製造業</td> </tr> <tr> <td>10. 化学・プラント</td> <td>11. 建築・土木</td> <td>12. 塗料・インキ製造業</td> </tr> <tr> <td>13. 薬品・樹脂</td> <td>14. 食品製造業</td> <td>15. 塗装業</td> </tr> <tr> <td>16. 鉄道・バス・運輸業</td> <td>17. 窯業・陶器製造</td> <td>18. 印刷産業</td> </tr> <tr> <td>19. 鋳造業</td> <td>20. 石油産業</td> <td>21. 電気部品製造</td> </tr> <tr> <td>22. 軽金属・非鉄</td> <td>23. 織物・家具</td> <td>24. パルプ</td> </tr> <tr> <td colspan="3">25. その他（詳しくご記入ください。 _____）</td> </tr> </table>			1. ガソリンスタンド	2. 自動車整備業	3. 自動車部品製造	4. 車両・造船業	5. 製鉄業	6. 機械加工業	7. 機械製造業	8. 電気機械器具製造	9. 半導体製造業	10. 化学・プラント	11. 建築・土木	12. 塗料・インキ製造業	13. 薬品・樹脂	14. 食品製造業	15. 塗装業	16. 鉄道・バス・運輸業	17. 窯業・陶器製造	18. 印刷産業	19. 鋳造業	20. 石油産業	21. 電気部品製造	22. 軽金属・非鉄	23. 織物・家具	24. パルプ	25. その他（詳しくご記入ください。 _____）		
1. ガソリンスタンド	2. 自動車整備業	3. 自動車部品製造																											
4. 車両・造船業	5. 製鉄業	6. 機械加工業																											
7. 機械製造業	8. 電気機械器具製造	9. 半導体製造業																											
10. 化学・プラント	11. 建築・土木	12. 塗料・インキ製造業																											
13. 薬品・樹脂	14. 食品製造業	15. 塗装業																											
16. 鉄道・バス・運輸業	17. 窯業・陶器製造	18. 印刷産業																											
19. 鋳造業	20. 石油産業	21. 電気部品製造																											
22. 軽金属・非鉄	23. 織物・家具	24. パルプ																											
25. その他（詳しくご記入ください。 _____）																													
■ 本機をお知りになったきっかけを○で囲んでください。 <table border="0"> <tr> <td>新聞</td> <td>1. 日刊工業新聞</td> <td>2. 日本工業新聞</td> <td>3. 日経産業新聞</td> </tr> <tr> <td></td> <td>4. 日刊自動車新聞</td> <td>5. 燃料油脂新聞</td> <td>6. その他の新聞</td> </tr> <tr> <td>雑誌</td> <td>7. IEN</td> <td>8. 化学装置</td> <td>9. IPG</td> </tr> <tr> <td></td> <td>11. 販売員に薦められて</td> <td>12. 展示会</td> <td>10. その他の雑誌</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>13. カタログで</td> </tr> </table>			新聞	1. 日刊工業新聞	2. 日本工業新聞	3. 日経産業新聞		4. 日刊自動車新聞	5. 燃料油脂新聞	6. その他の新聞	雑誌	7. IEN	8. 化学装置	9. IPG		11. 販売員に薦められて	12. 展示会	10. その他の雑誌				13. カタログで							
新聞	1. 日刊工業新聞	2. 日本工業新聞	3. 日経産業新聞																										
	4. 日刊自動車新聞	5. 燃料油脂新聞	6. その他の新聞																										
雑誌	7. IEN	8. 化学装置	9. IPG																										
	11. 販売員に薦められて	12. 展示会	10. その他の雑誌																										
			13. カタログで																										
ご購入年月日	_____ 年 _____ 月 _____ 日	ご購入目的 _____																											
ご購入販売店		ご使用条件 1. 一次側圧力 _____ 2. 流量（吐出量） _____ 3. 吐出圧力 _____																											
製品名（形式）																													
製品番号																													
SERIAL No.																													
LOT No.																													

宛先
株式会社 ヤマダコーポレーション
営業部 製品保証登録係
TEL.03-3777-4101
FAX.03-3777-3328

お 願 い

この度は、弊社製品をご購入いただき、誠にありがとうございます。

弊社では、お納めした製品のアフターサービス徹底のため「ご愛用者登録」による保証制度を採用しております。お手数をおかけいたしますが、添付の「製品保証登録FAXシート」に必要事項をご記入の上、弊社宛にご送信ください。弊社にて受信後、下記記載の保証を履行させていただきます。

尚、ご送信がない場合には、保証期間中でも保証の対象となりませんので必ずご送信ください。

また、本制度は日本国内においてのみ有効です。

11. 保証規定

1. 保証期間：製品を納入申し上げた日より起算して12ヶ月間といたします。
2. 保証内容：保証期間中に、本機を構成する純正部品の材料、もしくは製造上の欠陥が表われ、弊社がこれを認めた場合、修復費用は全額負担いたします。
3. 適用除外：保証期間中であっても、下記の場合には適用いたしません。
 - (1) 純正部品以外の部品を使用された場合に発生した故障。
 - (2) 使用・取扱上の過失による故障、保管・保安上の手入れ不十分が原因による故障。
 - (3) 製品の構成部品を腐食・膨潤、または溶解する様な液剤を使用して生じた故障。
 - (4) 弊社、または弊社の販売店・指定サービス店以外の手によって分解修理がなされた場合。
 - (5) 製品に弊社以外の手によって改造・変更が加えられ、これが原因で発生した故障。
 - (6) パッキン、Oリング、ボール、バルブシートなどの消耗品の磨耗。
 - (7) お買上げ後の輸送、移動、落下などによる故障及び損傷。
 - (8) 火災、地震、水害、及びその他天災、地変などの不可抗力による故障及び損傷。
 - (9) 不純物や過度のドレンが混入した圧縮エアを動力として使用したり、指定の圧縮エア以外の気体・液体を動力として使用した場合に発生した故障。
 - (10) 過度に磨耗性を有する材料や、本機に不適當な油脂を使用された場合の故障。
 - (11) 日本国外においてご使用の場合。
尚、本製品及びその付属品に使用されているゴム部品等、あらゆる自然損耗する部品、消耗部品ならびに下記商品については、保証の適用から除外させていただきます。
・ホース類 ・各種パッキン類 ・コード類
4. 補修用部品：補修用部品の最低保有期間は、製造打ち切り後5年とさせていただきます。
製造打ち切り後5年を経過したものにつきましては、供給いたしかねる場合もございますので、何卒ご了承ください。

製品に対するお問い合わせは、下記営業所にお問い合わせ致します。

株式会社ヤマダコーポレーション

本社・営業部	〒143-8504 東京都大田区南馬込 1 丁目 1 番 3 号	TEL(03)3777-4101(代)	FAX(03)3777-3328
札幌営業所	〒062-0002 札幌市豊平区美園二条 6 丁目 3 番 16 号	TEL(011)821-0630(代)	FAX(011)821-0949
仙台営業所	〒981-3137 宮城県仙台市泉区大沢 2 丁目 2 番 3 号	TEL(022)343-9410(代)	FAX(022)343-9411
東京営業所	〒143-8504 東京都大田区南馬込 1 丁目 1 番 3 号	TEL(03)3777-3171(代)	FAX(03)3777-6770
名古屋営業所	〒463-0052 名古屋市守山区小幡宮ノ腰 7 番 38 号	TEL(052)795-0222(代)	FAX(052)795-0444
大阪営業所	〒537-0025 大阪市東成区中道 3 丁目 15 番 2 号	TEL(06)6971-5301(代)	FAX(06)6974-0497
広島営業所	〒731-5128 広島市佐伯区五日市中央 3 丁目 3 番 9 号	TEL(082)275-5852(代)	FAX(082)275-5853
福岡営業所	〒812-0888 福岡市博多区板付 5 丁目 18 番 14 号	TEL(092)581-5477(代)	FAX(092)581-6524

YAMADA AMERICA Inc.	955 E.ALGONQUIN RD., ARLINGTON HEIGHTS, IL 60005,USA	TEL 1-847-631-9200
YAMADA EUROPE B.V	Aquamarijnstraat 50-7554 NS Hengelo(O), The Netherlands	TEL 31-0-74-242-2032
雅玛达(上海)泵业贸易有限公司	上海市浦东新区金桥路 2690 弄 48 号 7 号门	TEL 86-21-3895-3699